

2018年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号
03010102

1. 計画名称

一般廃棄物(ごみ)処理基本計画

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	家庭系ごみ、事業系ごみとも減少傾向にあるが、ごみ処理基本計画の目標設定は満たしていない。要因としては新リサイクル施設の建設の遅れ等もあるが、施設稼働の目途がついたことにより、次回計画見直し時には目標数値を改定する予定。
今後の重点化施策番号	2	説明	市民団体の美サイクル茅野が最も重要としている取組であり、循環型社会構築のためにも必要な取組である。施策番号4は諏訪南行政事務組合の事業であるが、茅野市として負担金を伴う重点施策である。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	住民・事業者・行政の役割の明確化と実行	やや遅れている	事業系ごみの搬入物展開検査を3回実施する。また、事業系ごみの直接搬入者への不適合物の持ち帰り指導を随時行ったことにより、事業系ごみの排出量が減少した。	排出されるごみの量は減少傾向にあるが、一層のごみ減量化への取り組みが必要。	美サイクル茅野と協働で雑紙回収袋を作成し、イベントや会議、施設見学の小学生に袋を配布し、住民のごみ減量化への意識向上のための啓発活動を行う。
2	発生抑制(Reduce)、再利用(Reuse)、再資源化(Recycle)の推進	おおむね順調	可燃物・資源物を減量化し、適切に処理するための住民への周知や、市民活動付団体と連携した取り組みを行うことなどを継続して行っている。また、環境館での普及啓発も3Rの推進のための必要な取り組みである。	排出されるごみの量は減少傾向にあり、リサイクル率も上昇している。しかし、市民の環境に対する意識を向上させる取り組みは、継続して行うことが必要である。	ごみの出し方や資源物の分別について、様々な手段や方法を用いて市民にPRすることが必要である。美サイクル茅野と協働して、ごみ減量化に取り組み雑紙回収袋を作成・配布する等の市民への啓発活動を行う。
3	環境に配慮した効率的なごみ処理体系の構築	おおむね順調	焼却施設の定期的な点検を実施し、計画どおりの修繕工事の施工により、安定したごみ焼却が行われた。	施設が稼働してから20年以上経過し、定期的な修繕では安定した熱効減量率の維持が難しい状況となっている。また、施設への負荷軽減のため、ごみの減量化による排出抑制に取り組む必要がある。	2019年度に実施予定の施設の精密機能診断により、安定した焼却処理を行っていくための改修工事計画を2020年度に策定する。
4					
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		

5. 添付資料

別紙「施策評価シート」